

## 消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

## 【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	大型消防車車庫入れ時、車両後部と車庫の柱が接触する事故。
3. 体験した事例の中心的要素	誘導員と機関員の連携。
4. 体験した事例の原因・理由	車両の車庫入れを誘導員1名にて行っており、誘導員2名配置し、前後の注意を払う。

## 【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

## 【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 20 年 5 月 0 日 午後 3 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：大型車両の車庫入れ時
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	その他： [ ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：大型車両の車庫入れ時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

#### 10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[ 36 ]歳、 勤続年数[ 17 ]年、 現場経験年数[ 15 ] 年、 階級[ 消防士長 ]、 同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 機関員 ]
○当事者 B	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者 C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

## 1.1. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	機関員	大型車両の車庫入れ時、柱と接触。	
経過 2			
経過 3			
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

周囲の視界が確保できていなかった。後方からの監視が行き届いていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかつた。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

#### b 注意力が欠如していた

- 注意力が欠けました

  - ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
  - ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
  - ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

いいえ
-----

## 【事故発生後の取り組みについて】

・・・・・・・・・・・・・・・・

### ○注意力欠如、焦り等の対策について

### ○装備・資機材の対策について

### ○活動環境の対策について

大型車両の旋回時のスペースを取れるように、他の車両を置いていた場所を旋回スペースとし、車両駐車禁止とした。

### ○指揮・情報伝達の対策について

車両の車庫入れを1名にて行っており、誘導員2名配置し、前後の注意を払う。

